様式第１号（第４条関係）

令和　　年　　月　　日

雫石町長　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

名　　称

代表者名　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

雫石町地域企業経営継続支援事業費補助金交付申請書

標記補助金の交付を受けたいので、雫石町地域企業経営継続支援事業費補助金交付要綱第４条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

１　補助事業に要する経費及び補助金交付申請額

(1)　補助事業に要する経費　　　　　　　　　　円

(2)　補助金交付申請額　　　　　　　　　　　　円

２　補助事業の内容

家賃補助（詳細は別紙のとおり）

３　補助事業完了予定日

令和　　年　　月　　日

（関係書類）

①　家賃が確認できる書類（賃貸借契約書、利用契約書の写し等）

②　減少を比較する月の売上と前年同月の売上が分かる書類

※　創業から１年を経過していない者にあっては、選択した月の売上が分かる書類

③　申請日時点で雫石町内で事業を行っていたことが分かる書類（登記事項証明書（履歴事項全部証明書）、所得税申告書の写し等）

④　その他町長が必要と認める書類（休業を証明する書類など）

|  |
| --- |
| 町税等納税状況確認 |
| 　私の雫石町町税等納税状況を雫石町長が閲覧・確認することに同意します。　　　　　（氏名　　　　　　　　　　　　　　　㊞　）※（　）内の氏名は自署して下さい。 |

暴力団排除に関する誓約書

補助金の交付の申請をするに当たって、また、補助事業の実施期間内及び完了後においても、下記のいずれにも該当しないことを誓約いたします。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

(1)　法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき。

(2)　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。

(3)　役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。

(4)　役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

別紙

１　事業所の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所名 | 業種 |
| 　 | 　 |
| 所在地 |
| 〒　　　－雫石町 |

２　売上比較　((1)から(3)のいずれか該当する方に記載してください。)

(1)　１か月の売上が50％以上減少している方

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ＜対象とする売上＞※1令和　年　　月分(A) | ＜前年同月の売上＞※2令和 　年 　月分（B） |  | 対前年同月比減少率((A-B)/B)\*100)=(C) | 要否判定※3(C)≦▲50％ |
| 円 | 円 | ▲　　　％ |  |

※1　 令和２年４月から令和２年９月までの間で、売上が前年同月比で50％以上減少している月の売上を記載すること。なお、申請月に休業した者にあっては、見込額を記載すること。

※2　 創業から１年を経過していない者にあっては、創業から申請の直近月までの任意の月の売上を記載すること。

※3 　雫石町で記載するので空欄のまま提出してください。

(2)　連続する３か月の売上が30％以上減少している方

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ＜対象とする売上＞※1令和　年　月～　月分(A) | ＜前年同期の売上＞※2(B) |  | 対前年同期比減少率((A-B)/B)\*100)=(C) | 要否判定※3(C)≦▲30％ |
| 円 | 円 | ▲　　　　％ |  |

※1　 令和２年２月から令和２年９月まで連続する３か月間で、売上が前年同期比で30％以上減少している期間の売上の合計を記載すること。

※2　 創業から１年を経過していない者にあっては、対象とする売上の期間より前のいずれか一月の売上げを３倍したものを前年同期の売上として記載すること。

※3 　雫石町で記載するので空欄のまま提出してください。

(3)　１か月の売上が30％以上減少している方

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ＜対象とする売上＞※1令和　　年　　月分(A) | ＜前年同月の売上＞※2令和 　年 　月分（B） |  | 対前年同月比減少率((A-B)/B)\*100)=(C) | 要否判定※3(C)≦▲30％ |
| 円 | 円 | ▲　　　％ |  |

※1　 令和２年11月から令和３年１月までの間で、売上が前年同月比で30％以上減少している月の売上を記載すること。なお、申請月に休業した者にあっては、見込額を記載すること。

※2　 創業から１年を経過していない者にあっては、創業から申請の直近月までの任意の月の売上を記載すること。

※3 　雫石町で記載するので空欄のまま提出してください。

３　補助金申請額

|  |  |
| --- | --- |
| 補助事業に要する経費　　※1 | （家賃）　　　　　　　　　　　　円（税込み） |
| （家賃合計）　　　　　　　　　　円（税込み・３か月分以内） |
| 月分 | 月分 | 月分 |
| 円 | 円 | 円 |
| 補助対象経費　※2 | （家賃）　　　　　　　　　　　　円（税抜き） |
| （家賃合計）　　　　　　　　　　円（税抜き・３か月分以内） |
| 月分 | 月分 | 月分 |
| 円 | 円 | 円 |
| 補助金所要額　※3 | 円（千円未満切り捨て） |
| 補助金申請額　※4 | 　　　　　　円 |

※1　契約書等に記載の賃料（税込み）を記載すること。

※2　契約書等に記載の賃料から、消費税及び地方消費税相当額並びに水道光熱費等の変動する経費を控除した金額を記載すること。

※3　（家賃）×1/2（千円未満切り捨て）×対象月数

※4　補助金所要額と上限額のいずれか低い方の額を記載。

【上限額】30万円（一月当たり10万円）